



太良町

# 議会だより

佐賀県太良町議会  
TEL (09546) ⑦ 0311  
編集 議会広報編集委員会  
印刷 松浦印刷社



3.5億円で完成した、し尿処理場 (風配の当木地区)

## 3月定例議会

# 新年度予算総額52億4千5百万円を議決

3月議会の日程	
3・20	閉会
3・19	採決 議案審議、質疑、討論
3・18	採決 議案審議、質疑、討論
3・17	採決 議案審議、質疑、討論
3・16	議案調査のため休会
3・15	議案調査のため休会
3・14	採決 議案審議、質疑、討論
3・13	議長報告
3・12	一般質問、総務常任委員
3・11	議案調査のため休会
3・10	議案調査のため休会
3・4	議会運営委員会 開会・本会議(議案一括上程、施政方針及び提案理由の説明)

# 昭和六十一年度の

(町長の方針説明)

## 町政の目標

### 新年度予算の編成

第一回定例町議会の開会にあたり、昭和六十一年度の各会計当初予算の総額五十二億四千五百三十五万七千円を上程し、慎重な審議をお願いするとともに、一般会計予算二十八億円に対する編成方針、町政運営の所信を申し述べたい。

私は、町政の担当者として重責を仰せ仕つてから二十六年を経過したが、この町政の運営については、いつも誠実な態度で、しかも公正に町政を進めることを基本に努力を続けてきたが、幸いに町民各位のご理解と、議会のご協力により今日まで色々の町の施策を続けてこられたことを感謝する。

いつも私の念頭には

◎町民生活の安定向上

◎産業の振興

◎教育の伸展

という三つのことを考えてきたが、これは何げれも相関連した問題で、産業の振興がなければ町民の生活の安定向上も出来ない。同時に又、産業の振興をす

るには、町民の教育水準が高められなければならないことを考へると、この三つの事柄は、お互いに相関連して「唇齒輔車」の役割を果していると存じ、この三つの目標に向つて努力してきたのである。しかも又、今日所謂、民主主義というものが、多数決の原理というもので、その形が運営されているが、そういう際にもわれわれは勿論、多数決の原理というものを決して否定するものではないけれども、声なき声を聞き、同時に、「最後の一人のために」も心を配らなければならぬことを深く考へて、この言葉を私の町政に対する哲学として考へてきたわけである。

もたらしており、私共は非常に幸せな時代に生れたと考へたい。ところで最近、所謂ドル高円安によつて輸出が増進し、日本は未曾有の外貨蓄積により、貿易摩擦で問題化し、昨今では、ドル安円高によつて、電気等原料を輸入している所は円高差益の還元などが問題になつてい

また、輸出に關係している所は、この影響が今後起きてくるので、特に中小企業の不景気がくると税収が減少して、今日行われている政府の緊縮政策というものが、ますますデフレ効果に拍車をかけるのではないかと心配である。又一方このような経済情勢の傍ら人口が急速に高齢化している。全国の老齢人口は九%であるが、太良町はすでに十四%で全国の六・七年後の老齢化人口に匹敵するような数字であつて、このことは、今後の太良町政を考へる上で、いつも忘れることの出来ないことであらうと考へられる。即ち国の財政事情の不均衡と同時に、又

老齡化社会現象の二つの板ばさみになつて政治の運営がなされるということ、政治というものはますます困難な事情にたち至るのではないかと考へられる。六十一年度の国の予算を見ると、五十四兆八百八十六億円、国債費が支出の二割に相当するといふ状況で、これも行革に取り組んで異常とも言える熱意を持つて努力されているが、問題の解決には、まだ程遠いといふ状況である。

それで国としては、国だけの行政改革ではどうしても不十分であると同時に、国の予算とほとんど変らない地方行政についても、徹底的な改革を行わなければならないと考へられ、我れわれにも強く行政改革を推進するようにと迫つてきているので、町でも行政改革推進本部を結成して色々と努力をしておるところである。

そこで、町としては六十一年度当初予算の編成について、基本的な姿勢として国の予算編成及び地方財政計画、地方債計画を基本として考へねばならないわけ、これをふまえて六十一年度の計画を立てたわけである。まず、町民生活に密着したと

ころの振興整備を促進し、あわせて町の経済を浮揚することを考へたのである。これをやるには色々の方法があるが、公共事業等を積極的に推進するような予算の編成をしたいと考へたのであるが遺憾ながら国の計画といふものがなかなか思つていはいかないといふことではあるが、たとえば、県の投資的経費が大体前年よりも六%程度伸びているのに太良町では十九%の伸びといふ予算を編成したのである。これは「豊かな町」を造るといふことに基本的につながつており、次に「健康な町」を造らねばならぬこと、又あらゆる産業の振興を図るにしても、あるいは工場誘致にしても、太良町内が平和でなければならぬわけ、親切で仲のよい町」を造らねばならないと考へて予算編成の基本としたのである。

### ◎『町民生活の安定向上』

町民生活の安定と福祉の向上及び健康の増進を図ることは町政の最も基本的課題であり、私は町政を担当して以来この推進に配慮して積極的に取り組んできたが、今後も人間尊重の精神に裏付けされた福祉の施策を推

進し、人間性豊かな福祉社会の実現を目指してやりたい。

福祉の施策は今日の国の重要施策である。で、これに我れわれも全力を注がねばと考える。

まず「人の幸福は健康から」を一番大事にして、全町あげての住民検診、予防行政を推進したい。特に「人生八十年時代」にふさわしい豊かな「長寿社会」を作っていくためには、健康づくりを特に進めて一人ひとりの健康への取り組みを積極的にし立派な社会を作って行きたい。

町民の健康増進を図るための健康管理については、保健センター、母子センターを中心に、又保健婦四名を中心に啓発指導を充実し、各種検診、予防対策の強化、又多良病院の医療体制の充実に努め、ガン等の成人病対策については早期発見早期治療が最も重要であるので本年度も徹底した予防行政を推進したい。又、衛生の基本である立派な水を飲むことの政策を続けてきたわけで、簡易水道特別会計で山根地区に飲料水供給施設の事業費等を計上した。

次に福祉対策について、まず老人対策としては、地域社会に積極的な役割を果たした

だいた老人の方々のため、老人クラブ活動に対する助成、敬老会、敬老年金、老人家庭奉仕員、痴呆性老人に対する短期保護事業、独居老人に対するテレビホン取付工事費、愛の一声運動等の助成を行なうたい。

児童福祉対策として保育園児の委託料、児童手当、乳幼児医療費助成、児童館運営委託料のほか母子家庭に対する医療費助成、又最も気の毒な身体障害者に対する援護として重度心身障害者医療費助成、身体障害者年金、重度心身障害者リハビリ訓練補助金などの予算を計上している。

住みよい環境づくりとして美しい町を作るために自然環境を保全し、自然と人間とのふれあい、特に郷土の自然と太良町民とのふれあいを深めるため、風配地区の「健康の森公園整備事業」に本年も引き続き予算を上した。又生活排水路整備事業費を計上した。

又、住宅対策としては、低所得者の居住対策として、昨年からの継続事業二種十二戸に加えて六十一年度六十二年度の二ヶ年継続事業として新たに一種六戸分を計上した。

次にごみの集取については、町民各位の協力により分別集取がようやく軌道にのり成果をあげることができたが、本年も「ごみ入箱」「生ごみ処理器」の購入補助ほか、本年は「ごみ集取車」の購入費を計上した。

◎『産業の振興』  
昨年は天候不順等により米、みかん等の不作とともに、市場競争の激化や、海外からの強い市場開放要請など依然として農業を取りまく情勢には厳しいものがある。このような中で、基幹産業として力強い農業を確立するためには意欲ある中核農家を中心に農地の流動化などによる農業構造改善事業の推進、農業生産の再編成、特性を活かした銘柄産地づくりなど促進するとともに、農家の経済負担の軽減を図るため、農林漁業開発資金二千万円の融資枠を設定、又県営土地改良事業等に係る利子補給金等を計上し、農家所得の向上に資するよう努力したい。

古賀端古賀地区)に二年目として四・七ヘクタールの圃場整備又、本年から新に、多良第一工区(川原地区)に三・四ヘクタールの圃場整備、同じく農道打越線整備事業、その他、県単小規模事業で、糸岐川北の圃場整備地区内の農道舗装事業、町単独の農道舗装の原材料費等の予算を計上している。

農地等災害復旧事業として、農地三十七箇所、施設二十九箇所の災害復旧事業費を計上している。

特産地づくり事業として、昨年からの継続事業品種更新で、「大浦早生」の穂木購入補助金新にみかん園の土壌改良で排水溝設置補助、又中堅農家の研究旅費。

畜産振興については昨年に引き続き乳牛導入補助金、気密サイロ設置補助、へい獣処理緊急対策事業費などを計上した。

林業振興について、最近の林業は困難な情勢にあるが町としては林業構造改善事業等で積極的に事業を推進したい。主な事業は本年から三ヶ年事業で中山山根線林道開設、又二ヶ年継続で間伐林道御手水線の事業費を計上した。

このほか多良岳横断線舗装事業、健康の森公園整備事業費等の予算を計上している。

水産関係については、漁港機能の増進及び漁港環境の整備を図るため昨年に引き続き多良漁港伊福地区改修事業、野崎漁港改修事業、竹崎漁港局部改良事業、又新たに多良漁港(栄町)局部改良事業等を計上している。

又、太良中央漁協のアゲマキ養殖場の整備、大浦漁協が事業主体として大浦竹崎に建設する漁具倉庫の建設費補助金等も予算計上している。

このほか商工業者の金融対策として、資金融通を促進するため、中小企業の融資預託貸付金の経費を本年も三千五百万円計上している。又多良岳自然公園や中山キャンプ場の整備費を計上するとともに観光事業に対応できるようにしたい。更に産業振興の基礎となる道路についても、離合場所、白線引き、カーブミラー、ガードレールを設置して交通安全の対策等を含めてそれぞれ予算措置をしている。

このほか多良岳横断線舗装事業、健康の森公園整備事業費等の予算を計上している。

## ◎『教育の伸展』

教育の問題は、町政を運営する上で、最も基本となるものであり、そのため社会教育の充実、町民会議の活発な活動を通じて立派な人間を造る。あるいは又、健康な体を維持するためスポーツの振興を図ると共に地域ぐるみで、人間教育、人づくりに取組み、地域文化の振興を図り明るく、潤いのある郷土づくりに努めたい。

教育環境の整備については、多良、大浦中学校体育館の補修工事を計上している。

社会教育の振興については、心豊かな地域社会づくりを推進し、社会教育指導者の養成及び地域における学習活動を推進するため、各種教育学級講座等の経費を計上するとともに又、新生活運動推進協議会の助成費を計上した。

青少年対策については、昨年度が「国際青年年」で青年の「社会参加の促進」国際交流を通じて相互理解の促進の一環として、昨年十月に鄭鴻女史を团长とする日中友好青年の船の親善訪問を受けるなど国際交流を通じて相互理解の促進が出来たと考えており、今後も青年の社

会参加や、国際交流を推進したいと考え、各種リーダー研修や児童の船、青年の船、若人の船等の参加費の予算を計上した。

又、最近大きな社会問題となっている「いじめ」の問題に対しても、全町あげてこれに取り組まなければならないと考えており、これら青少年の健全育成、非行防止に関する施策を総合的に推進する青少年育成町民会議及び青少年育成地域実践活動促進事業に必要な予算を計上した。

このほかスポーツの振興についても、昨年に引き続き、住民スポーツの開催、各種スポーツ大会の開催、指導者の育成、各種大会参加派遣等に要する経費を計上したほか、育成資金、後継者育成や、町民文化の向上のための予算も計上した。

以上述べた三つの項目のほかには町民生活に密着した行政を心がけ、健全運営に万全を期していく所存である。町民の方々のより一層のご理解とご協力をお願いしたい。

**太良町庁舎建設基金条例の制定について**

太良町庁舎建設の費用を積立

てるため条例を制定するもの。

**太良町立学校建設基金条例及び太良町減債基金条例の特例に関する条例の制定について**

昭和六十一年度に限って基金の一部を庁舎建設の費用に充てるため、庁舎建設基金に繰入れ出来るよう条例を制定するもの。  
**太良町行政財産使用料条例の制定について**

地方自治法の規定により許可を受けて使用する行政財産の用途、目的外使用の対価として徴収する使用料を定めるため条例を制定するもの。

**太良町議会議員の報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について**

特別報酬等審議会の答申に基づき、町議会議員の報酬を五%六十一年十月にさかのぼって改正するもの。

**町長、助役及び収入役の諸給与条例の一部を改正する条例の制定について**

特別報酬等審議会の答申に基づき、町三役の給料を五%六十一年十月にさかのぼって改正するもの。

**教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

町議会議員及び町三役の給与改正に準じて改正するもの。

**太良町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

町議会議員及び町三役等の給与改正に準じて改正するもの。ただし、日額報酬については近隣市町村との均衡を考慮し、選挙関係を除き改正を見送ったもの。

**太良町消防団条例の一部を改正する条例の制定について**

町議会議員及び町三役等の給与改正に準じて消防団員の報酬を十月にさかのぼって改正するもの。

**給与の特別調整に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

太良町立多良病院の医師に対する給与の特別調整で、職員給与のベースアップに伴う調整を六十一年四月から実施するため改正するもの。

**太良町営火葬場使用条例の一部を改正する条例の制定について**

経済情勢の変動及び他市町村の実情等を考慮し、火葬場使用料を町内居住者について一死体二四〇〇円を二五〇〇円に町外

居住者については五〇〇〇円を一〇〇〇〇円に改めるもの。

**太良町簡易水道条例の一部を改正する条例の制定について**

上今里地区に水道を設置したので、給水区域を定めるため改正するもの。

**町営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について**

町営住宅に引き続き三年以上の入居者に対し、収入調査及び収入認定をして収入基準を超過する高所得者に対して住宅管理法に基づき、通知、明渡しの請求、住宅のあっせん等を履行するため改正するもの。

**太良町屋外ステージの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

施設の名称を野外音楽堂に変更するため改正するもの。

**辺地に係る総合整備計画について**

辺地として指定された矢筈(山根地区)及び、蕪田、柳谷辺地に、多良岳横断林道の舗装改良を六一年から八年間で、七千八百万円、御手水辺地に林道開設事業を二年間で千八百万円又、矢筈辺地については、六一年度山根地区飲料水供給施設千百九十万円を辺地対策事業債

にのせて、今後、整備を図り、山間地域の振興を期するため、議会の議決を求めもの。

昭和六十一年度太良町農林漁業開発資金融通に伴う事業の指定及び融資額の限度について

昭和六十年と同様に、かんきつ経営資金、畜産経営資金、海苔養殖資金を事業指定して二千万円の融資限度額を定めるため、議会の議決を求めもの。

太良町営土地改良事業計画について

昭和六十一年度に太良町大字多良字打越に農道事業の実施を計画しており土地改良法第九六条の二第二項の規定に基づき議会の議決を求めもの。

太良町営土地改良事業経費の賦課徴収の基準等について

昭和六十一年度新農業構造改善事業に事業費三千六百五拾四万円を投じて打越線の実施を計画しており、賦課基準を事業費の二十％に定めるため太良町土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の規定により議会の議決を求めもの。

昭和六十年太良町営住宅（亀ノ浦団地）新築工事（二種）請負変更契約の締結について

実施の結果、推定岩盤線の変

動により設計変更したので、当初契約金額九千九百万円を九千八百三拾九万八千円に請負変更契約したので、議会の議決を求めもの。

昭和六十一年度多良漁港（伊福地区）改修事業二期工事請負変更契約の締結について

入札執行残金を充当し次年度施行区間の堤体工、上部工を増工し設計変更したので、当初契約金額三千六百八拾万円を三千九百五拾一万円に請負変更契約を締結したので、議会の議決を求めもの。

昭和六十一年度竹崎漁港局部改良事業工事請負変更契約の締結について

入札執行残金を充当し、上部工を増工し設計変更したので、当初契約金額三千九百万円を三千九百九拾万円に請負変更契約を締結したので、議会の議決を求めもの。

新農業構造改善事業（農村地域）多良地区区画整理第二工区工事請負変更契約の締結について

実施の結果、ほ場基盤に変動が生じ設計変更したので、当初契約金額三千八百七拾万円を三千五百九拾万円に請負変更契約を締結したので、議会の議決

を求めもの。

間伐林道開設工事（座木線一工区）請負変更契約の締結について

実施の結果、暗渠の方線変更及び土羽止の練積ブロック等の増工により設計変更したので当初契約金額三千百拾五万円を三千百三拾九万七千円に請負変更契約を締結したので、議会の議決を求めもの。

間伐林道開設工事（座木線二工区）請負変更契約の締結について

実施の結果、橋台の取付ボックス積及び流末処理溝の増により設計変更したので当初契約金額四千九百五拾万円を五千五拾二万三千円に請負変更契約を締結したので、議会の議決を求めもの。

太良町の区域内にあらたに生じた土地の確認について

太良町大字大浦字白浜及び広江地先の埋立工事が完成し、県の竣工認可を得たので、議会の議決を求めもの。

太良町内の字の区域を変更することについて

太良町の区域内にあらたに生じた土地を区域に編入するため字の区域の変更について議会の

議決を求めもの。

昭和六十一年度太良町一般会計補正予算（第九号）

補正額九千六十一万二千円で予算総額三十四億四千九百九十四万二千円となる。

基金積立金一億円のほかは各事業費の変更（確定）に伴う係数整理による補正等。

議案第二十七号から議案第三十一号までは各特別会計補正予算は各事業の計画変更など係数整理による補正。

昭和61年度太良町各会計別予算 (単位:千円,%)

会 計 別	61年度	60年度	増 減 率
一 般 会 計	2,800,000	2,650,000	5.7
山 林 特 別 会 計	28,500	32,000	△ 10.9
普 通 会 計 合 計	2,828,500	2,682,000	5.5
老 人 保 健 計	656,000	731,400	△ 10.3
国 民 健 康 保 健 計	1,013,100	1,136,400	△ 10.9
多 事 業 院 計	547,993	508,645	7.7
簡 易 水 道 計	145,000	59,100	145.3
水 道 事 業 会 計	54,764	50,993	7.4
総 計	5,245,357	5,168,538	1.5

子算科目	事業名	金額	事業内容
農業振興費	県単小規模土地改良事業	13,000	川北地区農道舗装 L=793m W=4.0m
〃	みかん園排水対策事業補助	2,000	対象戸数 453戸(45.3ha)
農業構造改善事業費	農業構造改善事業	152,816	糸崎川北地区土地基整備農道整備 多良地区土地基整備農道整備事業推進費
農地費	農道舗装事業(原材料支給)	20,000	35ヶ所 総延長 L=7.860m
林業振興費	新間伐促進総合対策事業	3,996	事業主体 森林組合(80ha×49,600千円)
林業構造改善事業費	山村林業構造改善事業	53,180	林道開設 林道舗装 緑地休養施設 造林施設整備事業
林道費	間伐林道開設事業	40,058	御手水線 L=1,200m W=4.0m
〃	県単林道舗装事業	6,000	大野線 L=250m W=3.6m 上床~道万線 L=220m W=4.0m
〃	県単作業道整備事業	1,500	風配線 L=230m W=4.0m
〃	林道舗装事業(原材料支給)	6,000	13路線 L=2,600m
〃	県営多良岳横断林道整備事業	15,000	舗装(矢筈、柳谷上) 改良(帆柱橋)
〃	林道整備事業	3,270	白線引工事 林道補修工事 カープミラー
健康の森公園整備費	健康の森公園施設整備事業	13,122	駐車場1,000㎡ 展望台1基 水呑み、手洗外
水産総務費	新沿岸漁業構造改善事業	60,352	漁業近代化施設 漁具倉庫 鉄骨ストレート葺2階建1,128㎡
漁港建設費	漁港建設事業	310,600	多良・野崎漁港改修事業 竹崎・多良漁港局部改良事業 県単漁港小規模事業
漁道維持費	町道白線引及び改良補修工事	13,000	大野線外
道路新設改良費	町道改良舗装工事	32,537	伊福中央線外(路肩、オーバーレイ、拡幅、岩盤除去外)
町営住宅建設費	公営住宅建設事業	85,770	亀ノ浦団地 60年度継続分2種12戸 61年度新規分1種6戸
中学校管理費	中学校施設整備事業	16,400	多良中体育館 大浦中体育館 大浦中電灯増設
農地等災害復旧費	農地災害復旧事業	70,618	60年災 66ヶ所(農地37ヶ所 施設29ヶ所)
山林特別会計	造林事業	21,295	町有林保育事業(下刈、除伐、つる切、枝打外)
簡易水道特別会計	山根地区飲料水供給施設整備事業	80,030	給水戸数30戸 計画給水人口100人

# 一般質問に5議員登壇

## 「いじめ」根絶のため 地域総ぐるみの行動を

坂井達馬

いじめなど問題行動の  
根絶対策を

最近「いじめ」が原因で自

殺する子供があとを断たない。

そのたびに学校、先生に責

任を負わせる見解があるが、

それは間違いだと思ふ。私は

昨年十二月二日から四日まで

東京で行なわれた全国教育研

究集会に参加したが、その報

告では全国二万ヶ所の教育対

話集会「はがきでの教育提言」

全国五千人の教育モニター制

度の発足等を肌で感じてきた

が、太良町にも「いじめ」の

可能性はあると思ふ。

子供、父母、地域住民、先

生が一体となるときいじめは

根絶できると私は信じる。

又教育一〇番の設置、子

供に生きることを励ます映像

作文等について教育長の所

見を聞きたい。

教育長 「いじめ問題の解決の

ために」の文部省指導を基に

校長会における対策協議、学

校における協力体制の整備、

青少年指導員の校区内巡視と

家庭訪問、教育相談窓口の設

置などを講じ、未然防止と早

期解決につとめており今後と

も早期発見と早期指導に努力

したい。

老人の生きがいを充たす

中間施設の建設を

問 私は先の議会で、大浦地区

に第二の特別老人ホームの建

設を提案したが、法的に同一

地区に二つは無理とわかった。

人生八十年時代と云われる

今日、国民の大きな不安は、

自らが又家族が健康をそこな

つた時、物心両面の負担は極



青少年育成町民会議の風景

により看護の低下などで家庭崩壊も考えられ、どうすればよいか、これが老人自身又は家族の心配であると指摘されている。

そこで誰しも考えることは多少経済的負担はかかっても要介護老人を引受けてくれる場所、つまり必要な医療看護施設の問題だと思ふ。

入院する程でもないが、家庭では十分対応できない要介護老人のために中間施設と云う福祉機関が具体化されていると聞か、政治は先取りが基本だとの考え方で町長のご意見を伺いたい。

町長 町でも皆さんのご協力

老人ホームができて現在八十五人を収容しているが、他に四十人位の入所希望がある。県の当初予算編成時に老人ホーム

## 見おとしはしないか

### 校内総点検を

江口末男

#### 町立学校内に「いじめ」の問題はないか

問 文部省は社会問題になっているいじめを重点的に取りあげ昨年十月全国都道府県教育委員会に対し指導体制の総点検と実態調査を指示され、その結果が本年二月まとめられているが、いじめに苦しみ幼い心の中に多くの悩みをかかえながら仕返しを恐れて学校にも親にも言えなかったのか知りながら適切な措置ができなかったのか「自殺」と言う取り返しのつかない事態に発生した東京中野富士見中学校二年生の「自殺」は、このいじめ報告に含まれていなかったことが新聞で報道されている。休み時間や人目のつかない所でいじめられ無理な要求をされ先生や家の者に言ってみる今度はいじめにあわせるぞ

△建設希望が三十六ヶ所もあり大浦にも申請したが無理で三十床の増床申請中だが状況はきびしい。更に努力したい。

と上級生や集団から言われ学校にも親にも言えず一人で悩み追いつめられていじめの標的にされている生徒がいてはならないと思うが、町立学校内にいじめの問題はないか。また、いじめのない学校にするためにどのような指導をなされているか。

教育長 いじめと言うのは発見



先生方による校内巡視

がむずかしい。いじめをうけていながら誰にも言わずにじーっと我慢をしている場合がある。

その殆んどが仕返しを恐れて人に言わない。

町立学校にも以前典型的ないじめがあつて対応に苦慮した。現在ではそのようないじめはないと思うが、全く知らない所でもいじめがあり、先生にも親にも言わないと発見がしにくいので全校生徒に投書や作文によつて自分の悩み事をかかせたりしているが、小学校は案外出ても中学校は殆んど出ないのが実情である。以前に問題になつたいじめは

## 国道二〇七号線里・野上間 国鉄立体交差歩道橋は？

川下広海

#### 歩道橋設置についての進捗状況はどうか

#### 問 国道二〇七号里・野上間の

国鉄立体交差地点に歩道橋設置の必要性について、何回か論議を重ねてきたが、育友会の方は現在でも通学する子どもたちの交通指導を現場に立番で大変な努力をされている。

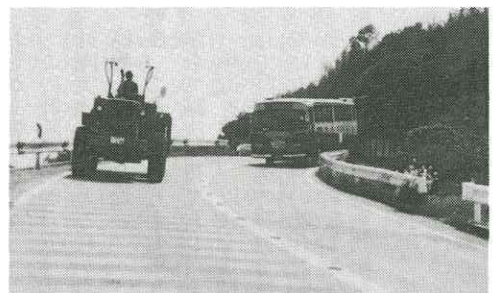
先生が教室にいない時、学級内のおとなしい子供をよつてたかつていじめていた。先生と生徒は心のふれあいが大事であるし、授業が済んでも教室に残り中食も一緒にし日常的な会話の中から生徒の様子を見ていじめの早期発見に取りくんている。

要望 いじめの認識にはかなりの差異があると思う。

登校拒否や学校恐怖症の生徒が絶対に出ないような教育指導と現在のいじめは被害者になる者を特定しにくいと聞いているので、いじめの見おとしがないように十分な配慮を期待している。

現地の橋は欄干も壊われ、ガードレールもこぼこになり、大型車が道路一ぱいに走っている状況である。

今まで町長のご努力により六十年度に二千万円の調査費がつき、一部取付道路ができしたが、今年あたり歩道橋設置の工事費がつくのではと、区



歩道橋設置が望まれるイカブ地区

町長 国鉄との交差橋の問題はこつこつ時節で仲々思うようにはいかないが、経過の概要は、五十九年に設計委託も終り、国鉄との協議もようやく軌道にのり、六十年度に二千万余の予算がついた。

里イカブ海岸の改築も歩道橋に係わる道路工事の関連である。車道が六・五メートル歩道が二・五メートルでこれができるかと学童も車も安全に



・拡幅が望まれる亀ノ浦神社線

なる。幅員十一メートル橋が二十メートルになるようで、六十一年度予算は五千万円は下らないとの情報をつかんでいる。

四億円の仕事費で五ヶ年計画で施行することになるが、何年もかかっては困るので予

## 町道亀ノ浦神社線の一部 拡幅と延長を

田原松四郎

農協支所撰果場西側町道の幅員  
拡幅はできないか

問 亀ノ浦川左岸町道（亀ノ浦神社線）のうち、Aコープ大浦店横の橋から大浦公民館横

算の割り振りを二〇七号線につけていたゞくように運動し五年と云わず来年度ぐらいには完成するよう努力したい。

要望 県、土木事務所、国鉄関係なので町長の努力をお願いし一日も早く安全に通学できるように要望する。

の橋まで約一〇〇メートルの間、石垣沿いにU字側溝があるが、これを改良すれば四五〇センチ位の拡幅ができると思うが町の考えはどうか。毎年みかんの出荷期になると加工みかんの集荷が、午後一時から三時まで支所撰果場で行われるが、受付順番を早くとるため早朝からつめかけて開始時刻には車の列が国道まではみ出し、交通渋滞がしばしばあり、警告もあつたとかで、ために公民館横の橋からAコープ横の橋までの町道を通り、資材庫を廻って集乳所前から撰果場に入る通路規制が行なわれ、神社線の通行が支障している。

これを緩和するために側溝を埋めて舗装すれば道幅も広くなり、車の離合も便利になると考えるが、町長のご所見を伺いたい。

町長 この道路は、亀ノ浦川の堤防敷に河川見廻り道として作られたもので、県との協定で町道に認められたいきさつもあるので町の独断には問題がある。（側溝を埋め道を広げた例話あり）

側溝を埋めて道を広くする交渉も、県にしてみたい。神社線の終点から平野道に通ずる道路の改良を

問 神社線の終点（水源地前の橋）から亀ノ浦、金目線（通称平野道）に通じる五〇メートルの里道を改良して町道の延長ができるか。

町長の英断によつて只今建設中の町営住宅亀ノ浦団地の横に、舗装された幅二・五長さ五〇メートルの農道が山ぎわまであり、その先に雑木林の中を幅一・五―二・〇長さ五〇メートルの山道が平野道に通じているが、この道は青木平、平野、広谷方面の方たちが徒歩で亀ノ浦に下る近道として、又地元民のみかん園へ

の近道として頻繁に利用されているところである。これを改良し、神社線の延長として平野道に接続していただきたいが、町長のお考えを伺いたい。

町長 あの道をきれいにすること

## 太良町振興計画の 見なおしを実施せよ

中村智利

問 太良町の振興計画は、昭和五十六年度を基準年度、六十六年を目標年次とする、本町の将来像及びこれを実現するための諸施策の大綱と方向を示すものとして「太良町総合開発計画」を十ヶ年計画で策定されたが、既に五ヶ年を経過して現在折り返し点にさしかかっている。

今日の激動する経済情勢や社会情勢に対応するために、この計画の見なおしが必要だと思つて町長の考えを尋ねる「太良町総合開発計画は、基本構想と基本計画及び実施計画からなっているが、この中で基本構想はたびたび軽々しく変更すべきではないが、基本計画と実施計画は、計画立

とで便利になると考えるが、農道なので部落の方と協議して、町としてお手伝いできることはお手伝いしたい。公民館支所を中心としたあの地帯の開発上重要な問題なので、十分考えてみたい。

案に当りローリングシステムによる計画の見なおし変更の必要性を認めているとおり、現実の町行財政運営の中でどのように対処するかを明確にして情勢に応じた計画の見なおしが必要だと思つ。

この計画発足から五ヶ年の計画実施の推移とこれからの構想を説明されたい。

町長 この計画は五十七年九月議会で議決を得ており、六一年迄を前期、以後を後期として計画の実施の努力を重ねているが、町村の総合計画はそのとおり実施することがなかなか困難である。その理由は、太良町の場合税金収入が一割程度で自己財源が非常に少く国や県の補助金





折り返し地点にきた開発計画

自動車の急速普及、機械化の進んだ農業、栽培漁業へのとりくみ、増加する余暇対策等の諸問題をふくめた客観情勢の推移に応じた立派な計画をつくり実施したい。

問 実施計画の中では事業の優先順位があると思うが、その変更も必要だと思ふ。

町民の就業意欲に対応するために、今や企業誘致は町の重点課題としなければならぬと思ふ。変更すべきは変更にし、とり入れるべきは新たにとり入れて計画のねり直しをして欲しい。

町長 工場誘致等も重要であるが、先づ誘致のための条件の整備から実施したい。

しかし六十年で前期を終るのでこの際計画実施の反省と検討を加えて後期の計画の見なおしを実施したい。

## 委員会の報告

### 総務常任委員会

議案第八十三号 昭和五十九年度太良町一般会計歳入歳出決算の認定について

### 議案第八十四号 昭和五十九年度太良町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第八十五号 昭和五十九年度太良町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

度太良町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第八十六号 昭和五十九年度太良町山林特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第八十七号 昭和五十九年度太良町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について

## 二月議会で議決したもの

の五議案は、去る十二月定例議会で閉会中の審査を付託されたもので、一月二十七日、二十八日の両日委員会を開催慎重審議を重ね委員会はいずれも原案どおり認定すべきものと決定し本会議に報告認定された。

定について

○昭和六十一年度太良町農林漁業開発資金融資に伴う事業の指定及び融資額の限度について

○太良町営土地改良事業の計画について

○太良町営土地改良事業経費の賦課徴収の基準等について

○昭和六十年度太良町町営住宅(亀ノ浦団地)新築工事(二種)請負変更契約の締結について

○昭和六十年度多良漁港(伊福地区)改修事業二期工事請負変更契約の締結について

○昭和六十年度竹崎漁港局部改良事業工事請負変更契約の締結について

○新農業構造改善事業(農村地域)多良地区区画整理第二工区工事請負変更契約の締結について

○間伐林道開設工事(座木線一工区)請負変更契約の締結について

○間伐林道開設工事(座木線二工区)請負変更契約の締結について

○太良町の区域内にあらたに生じた土地の確認について

○太良町内の字の区域を変更す

○太良町庁舎建設基金条例の制定について

○太良町立学校建設基金条例及び太良町減債基金条例の特例に関する条例の制定について

○太良町行政財産使用料条例の制定について

○太良町議会議員の報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について

○町長・助役及び収入役の諸給与と条例の一部を改正する条例の制定について

○教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○太良町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に

○太良町消防団条例の一部を改正する条例の制定について

○給与の特別調整に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○太良町消防団条例の一部を改正する条例の制定について

○給与の特別調整に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○太良町営火葬場使用条例の一部を改正する条例の制定について

○太良町簡易水道条例の一部を改正する条例の制定について

○町営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

○太良町屋外ステージの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○辺地に係る総合整備計画の策

○昭和六十一年度多良漁港(伊福地区)改修事業二期工事請負変更契約の締結について

○昭和六十年度竹崎漁港局部改良事業工事請負変更契約の締結について

ることについて

○昭和六十年太良町一般会計補正予算第九号について

○昭和六十年太良町老人保健特別会計補正予算第四号について

○昭和六十年太良町国民健康保険特別会計補正予算第四号について

○昭和六十年度山林特別会計補正予算第五号について

○昭和六十年度太良町簡易水道特別会計補正予算第四号について

○昭和六十年度太良町水道事業会計補正予算第三号について

○昭和六十年度太良町老人保健特別会計予算について

○昭和六十一年度太良町国民健康保険特別会計予算について

○昭和六十一年度太良町山林特別会計予算について

○昭和六十一年度太良町簡易水道特別会計予算について

○昭和六十一年度太良町水道事業会計予算について

文教、厚生等に関する調査について

経済常任委員会

農林水産、観光等に関する調査について

建設常任委員会

土木、建設等に関する調査について

成人式

消防団出初式

諫早湾干拓会議

議事だより編集委員会

武雄市、鹿島市、杵島郡、藤津郡市町村広域圏協議会

諫早湾干拓会議

議事だより編集委員会

議会の動き 一月 三月

2・5 武雄市、鹿島市、杵島郡、藤津郡市町村広域圏協議会

2・8 北方領土返還要求県民集会

2・12 議員全員協議会

2・19 同和地区別研修会

2・20 庁舎建設特別委員会部会長会議

2・22 議長会定期総会

2・23 文化振興会議

2・24 鹿島・藤津衛生施設組合議会

2・25 議員全員協議会

3・3 庁舎建設特別委員会予算部会、設計部会研修

3・4 庁舎建設特別委員会用地部会

3・6 庁舎建設特別委員会用地部会

3・27 地部会

3・28 協議会

3・29 武雄市、鹿島市、杵島郡、藤津郡市町村広域圏協議会

3・31 議事だより編集委員会

法令用語

滞納処分 地方公共団体においての滞納処分とは、地方税、分担金、加入金、過料等の公法上の収入を債務者が滞納した場合に行なう行政上の強制執行をいう。

額、督促手数料、滞納処分費等に充当するに足りる財産を差し押さえ、これを原則として公売の方法によって換価し、その換価代金を滞納額に充当して強制徴収の目的を達成するものである。

編集室より

三月定例議会は去る十日に招集され、会期十一日間の日程で開かれましたが、六十一年度の新予算や諸事業計画等重要な問題だけに、審議にも熱が込められ総額五十二億四千五百万円余りの予算と、これに関連する条例などいづれも原案通り可決して二十日に閉会しました。

今議会の審議経過については紙面の都合でその概要しかお知らせできないのが残念ですが、あらましについてのご理解をいただければ幸せと存じます。

表題の写真は、十数年来の懸案事項であった、し尿処理場が三・五億円の巨費でようやく完成し四月から始動する運びになった喜びを町民の気持を込めて掲載いたしました。ぜひ一度ご見学を!!

- 編集委員長 坂井 達馬
副委員長 田口 又雄
委員 田原松四郎
委員 山田 寿正